



議員

町の基金はどう活用されるのか

町長

改めて各基金の活用方法と財政計画を示したい



議員

津別町は平成30年3月末現在で約55億円の基金を持っている。

私は、現在の基金残高は多過ぎると考えている。同様に国政のほうでも、財務省の諮問機関である財政制度等審議会と、総務省の諮問機関である地方財政審議会が地方自治体の基金について激しいバトルを繰り広げているようだが、地方自治体の基金が貯め過ぎだと言われないためにも、苦勞して貯めた基金の正当性を

示すべきだと思う。その正当性を示すには、約55億円の基金を今後どのように使っていくのか、津別町としての今後の基金の使い道をしつかりと計画していくべきだと思う。町長の考えを伺いたい。

町長

現在、まちなか再生に伴う各施設の整備費用の見通しが立ったことから、将来の財政需要に対するシミュレーションをつくり直しているところです。施設の建設に伴い、起

議員

債の償還が増えていきますので、基金を有効に活用し、財源の確保を図っていくつもりです。今後については改めて各基金の活用方法と財政計画をお示しし、持続可能な財政運営を行っていく考えです。

基金が大幅に減ってくると町民のサービスにどのような影響が出てくるのか、それから財政運営等にも影響が出てくるのか、また、基金は最低限どのぐらい確保しなければならないと考えているのか。

町長

基金が減ってしまうと財政運営上、町民サービスの取捨選択をしなければならなくなります。つまり、

思い切った政策が行えなくなるかと考えられます。基金の減による財政の硬直化から起こる町民サービスの低下については、可能な限り避けるべきと考えています。

それから最低必要な基金の額は、財政調整基金とその他の基金を合わせて、15億円程度と考えています。

議員

今後の財政運営をどう進めるのか

町長

「継続」を基本としたい

議員

今後、人口減少により歳入額が減少すると固定経費の割合が上昇し、投資的事業が制限されることになると思うが、どのような点に留意しながら財政運営を進めていくべきか、今後の見通しと町長の考えを伺いたい。

町長

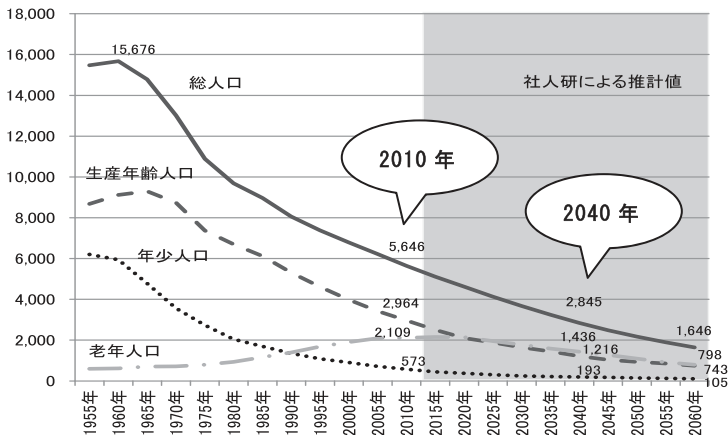
人口減少に伴い、町税や地方交付税などは減少していくと推測しているところです。今後は、行政財政の緊急性や重要性を検証いたしまして、さらなる住民満足度の向上につながる事業を取捨選択し、「継続」を基本にした行財政運営を進めていくことが必要であると考えています。

小林 教行 議員

- 人口減少対策について
- 道徳の授業について



(人) 津別町総人口及び年齢3区分別人口の推移(2015年資料)



議員

2018年5月末の津別町の人口は4765人であり、2020年津別町独自推計4731人を大きく下回る状況である。現在の人口状況と総合戦略の中で設定された人口ビジョンの数値目標との乖離の状況について伺いたい。

議員

未来のために人口減少対策に
取り組む姿勢は

町長
今の取り組みをしっかりと行い
稼ぐ自治体を目指す

町長

2015年時点の人口を比較しますと、津別町独自推計5136人に対し、実際の人口は5008人でありました。人口ビジョン策定の基礎数値が、2010年時点の国勢調査であった点と、高齢者を中心とする減少が加速している点が、乖離の要因であると推察しています。

議員

あまりにも目標数値との乖離があれば、総合戦略が絵に描いた餅になるのではないかと。現場のモチベーションを高めるためにも数値目標を見直す考えはあるか伺いたい。

町長

人口ビジョンは2060年までの津別町の将来的な人口を基準に示したもので、途中時点での見直しをするものとは考えていません。また、地方創生の事業が平成27年から



31年まで補助金、交付金がきていますから、31年までは立てた人口ビジョンに沿って進めていきたいと考えています。

議員

人口減少対策は、未来の津別町のためにとっても重要なことである。今いる津別町民が住み続けられる町として、進学や就職で離町した若者が戻ってきたいと思える町として、理想とする子どもの数を産み育てられる子育てしやすい町として、町民全体の幸福度を上げるまちづくりを目指してはどうか。

町長

今やっていることをまずはしっかりとやっていくこと。稼ぐ自治体を目指し、町民の方も可能な限り関わっていただき、将来に向かっていくべきだと思います。

議員

津別町の目指す
道徳教育とは

教育長
豊かな思いやりの
ある子どもを
育むこと

議員

道徳が教科化されたが、評価はどのように行うのか。

教育長

他の生徒と比較することなく、自分自身の成長を実感し、学習意欲の向上につなげるための評価を工夫していきます。

議員

人は人の役に立つために生まれてきて人に感謝される行いをし、その結果、自分の有用性を感じ、生きている実感を得て幸せになるものだと思う。津別町で育った子どもたちは、どのように社会に影響を与えていくのか教育長の考えはどうか。

教育長

自分と友達を大切にできる豊かな思いやりのある子どもを育むことが、豊かな町づくりにつながると思っています。

渡邊 直樹 議員

- 木材工芸館改修について
- ドッグランの設置について



議員

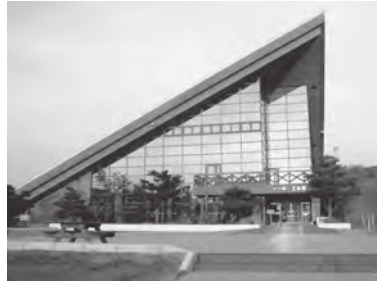
木材工芸館入口に「遊びの場」をイメージする
案内や看板をデザインしては

町長

外観を変える予定はない

議員

工芸館は、木材工芸の活性化と林産業の振興発展のため、昭和59年に建設された。今後は、「親子が楽しめる施設」として、現在改修中だが、利用者へどのように周知し集客を促す考えなのか。



産業振興課主幹

今からは期間が長く、徐々に盛り上げて、来年のオープンに向け周知していきたい。

町長

完成予想図を工事箇所に貼りだし、広報にも掲載します。完成後は、多くの媒体に取り

上げていただき、こども園や小学校ではチラシを配布するなど、期待を高めて集客に努めたい。

議員

国道沿いの工芸館入り口を通行者の目を引く、「遊びの場」をイメージする案内や看板をデザインしてはどうか。

町長

外観を変える予定はありません。入ってみて「これはいい所だな」と思うもの、木材工芸館等運営委員会が出されるアイデアに対応したい。

議員

工芸館の愛称を新たに考えてはどうか。

町長

正式名称は「つべつ木材工芸館」としたままで、愛称は完成が近い来年2月ごろ、募集をして決めたい。

議員

町内の施設に「ドッグラン」を設置しては

町長

費用対効果を考えるとメリットはあまりない

議員

ドッグランは、自由に迷惑をかけず遊ばせることができ、犬だけでなく飼い主同士の交流の場ともなる。

国道沿いで町からも近い「木材工芸館の周辺」、町外利用者も多いキャンプ場「さくら公園」では、複合的な賑わいにつながり、「道の駅あいおい」では、滞在時間の延長が期待できるが、設置の考えを伺いたい。

町長

以前「道の駅あいおい」で検討しましたが、大きなスペースが必要で、衛生面や騒音の心配、人的な対応や費用対効果も合わせますと、メリットはあまりないと判断しました。他の町内施設においても同様で、それぞれ設置目的があり、今後の大型事業も勘案して考えなければなりません。

議員

経費の問題は、他の市町村で幾つかの施設を見ると、「やり方」、「やりよう」と考える。トラブルやマナーについても、集団になれば当然起こり得ることであり、知恵を絞って、心配事は多いと思うが検討できないか。

町長

犬については、私も思い入れもありますが、人間に対するサービスを優先させたい。



篠原 眞稚子 議員

- 発達障がい児の対応支援について
- ハラスメントの認識と対策について



議員

発達障がいに対する支援は怎么样了なっているか

教育長

一人一人に可能な限りの

教育環境を提供したい

議員

文部科学省の2012年の調査によると、通常学級に在籍する児童生徒の中で、発達障がいの特徴を示す子どもは、全体の6.5%という結果で、その特色を示すのが15人に1人の割合と公表されました。津別町における状況も増えてきているのではないかと推測しますが、実態調査は行われているのか伺います。

教育長



文科省の調査は、担任教員が記入し、特別教育支援コーディネーターまたは、教頭による確認を経て、提出した回答に基づくもので、医師や発達障がいの専門家チームによる診断によるものではないことに留意する必要がありますので、調査に参加し、実態把握に努めています。

議員

学校における支援は怎么样了なっているか伺います。

教育長

子どもたち一人一人にとって、可能な限り適した教育環境を提供できるように、学校では校長のリーダーシップのもと、教職員全員が可能な限り知恵を出し合って協力して支援を行っています。

議員

放課後の居場所としては、児童館と放課後等デイサービスがあると思いますが、どのようなになっているのか伺います。

教育長

何が一番望ましいのかという観点で、放課後の居場所を考えるのが大切だと考えています。児童館は集団で遊ぶことで社会性を伸ばす場であつて、一人一人の身体機能や生

活能力向上のための自立訓練とか、療育を提供する場ではありませんので、保護者と話し合いをしながら最善の支援を選択していくことが大切だろうと考えています。

議員

ハラスメントに関する要綱はあるのか

町長

パワハラ・モラハラを加え整備したい

議員

セクハラやパワハラによる問題が報道され、ハラスメントに関する関心が高まっていると考えます。ハラスメントは、人権を侵害する大きな問題でもあります。ハラスメントに対する認識と対策について伺います。

町長

職場での代表的なハラスメントは、セクハラ・パワハラ・モラハラ等が挙げられます。セクハラは、職員の意に反する性的な言動により、上司や同僚から人格を傷つけられること。パワハラは、職務上の権限や地位などを背景に、

業務内容や指導などが適正なレベルを超えて、人格や尊厳を傷つけられること。モラハラは、仲間はずれ、無視、陰口、必要な情報を与えないなど、上司や同僚から人格や尊厳を傷つけられることと認識しています。

対策につきましては、上司も部下も日ごろからコミュニケーションを図り、職場内での人権を尊重し、能力が十分発揮できるよう職場環境を整えていくことが大切であると考えています。

議員

津別町におけるハラスメントに関する要綱等があるのか伺います。

町長

「セクシャル・ハラスメントの防止に関する規程」を平成14年3月に制定しています。

これに、パワハラやモラハラを加えて近く整備をしています。また、人事院でも既に手引

きを出していますので、津別町役場としても取り進めたいと思います。

高橋 剛 議員

- 空き家対策及び移住対策について
- 合葬墓について



議員

移住政策と空き家対策を一体化する
施策が必要ではないか

町長 ホームページの活用、
体験移住の
継続などをやっつけく

議員

町のホームページに掲載されている空き家情報が少ないと思うが、改善を考えているのか。

町長

ご指摘の通り空き家の情報量が少なく、現在は2件のみとなっております。相談会を開催したところ、17件の相談があり、このうち8件が登録申請を申し出ていますので、これらを加え、より活用しやすいサイトに改善していく考えです。



議員

体験移住に関して、利用施設が旧町長宅になっていたり、新庁舎建設にあたって取り壊す場合、代替は考えているのか。

町長

お試し住宅、またはこれに代わる機能を持つ施設は、移住政策推進のため、必要なのと考えていますので、今後、空き家活用も含め、検討していく考えです。

議員

空き家利活用、移住政策などで、役場の窓口がバラバラの印象を受けるが、一体化してはどうか。

町長

本年3月に策定しました「津別町空家等対策計画」に基づき、関係する課との連携を図りながら、建設課に一元化するとしたところです。

議員

相続登記や後見人制度等の周知・説明会を行い、高齢化による空き家発生や、相続未登記による、所有者不明空き家発生予防を図る施策を取り入れてみてはどうか。

町長

空き家相談会で見えてきた課題の一つが、相続登記されていない物件が相当数あることでした。ご質問の件に関しましては、高齢者福祉の面もありますので、今後、高齢者大学などでの周知・説明も検討したいと考えます。

議員

合葬墓の検討結果は
どうなったのか

町長 意見交換を行いながら
さらに検討していきたい

議員

近年の墓じまいの数と新規利用者数の推移はどうなっているのか。

町長

墓地利用の減少傾向は続いており、平成27年度から30年



度5月末までで、新設が4件、返還が43件となっております。

議員

合葬墓について、町長は平成25年12月と27年12月定例会において、それぞれ「先進事例や、町民の要望をかんがみながら設置することの必要性を判断してまいりたい」、「無縁・有縁の碑を有料化して、使用することを今後検討してまいりたい」と答弁しているが、検討結果はどうだったのか。

町長

お墓の継承や無縁化の不安解消及び、時代の変化に対応するため、町内の宗教団体などとの意見交換を行いながら、「無縁・有縁の碑」とは別のものとして検討していきたいと考えています。



議員

職員の長期休暇
などの実態は

町長

一〇三三年間で
長期休暇は8人

議員

役場の職場環境において昨今心配するところが見受けられる。この3年間職員の長期休暇などの実態と要因を伺いたい。

町長

平成27年からこれまで8人の長期休暇者があり、内7人はいずれもメンタルヘルスの不調によるものです。

議員

心の健康に不調が生じる職場の要因は何か。

町長

対人関係や生活のリズムの問題及び、仕事が非常に多くなってきたりなどの理由があります。

議員

役場内のメンタルヘルスケアなど対策はどうなっているのか。

町長

毎年ストレスチェックを行っています。その結果仕事の量的負担と質的負担が重い、上司などからの支援が得られない割合が全国平均を超えています。そこで、今年4月から係長の役割を復活させたところですが。



議員

人事異動はどの
ような考え方が

町長

適材適所と積極性
に基づき実施

議員

新規採用と配置転換について基本的な方針について伺いたい。

町長

新規採用は、津別町の振興発展の意欲とともに心身が健康であることを基本に、ま

た、配置転換は3年を目安に、種々の計画策定とか大きな新規事業を行う部署は、業務内容と経験などを加味し、実施しています。

議員

管理職への昇進の基準などの考え方について伺いたい。

町長

人事上の問題であり、あまりお答えできませんが、自己申告や副町長が行っている面接などを参考にしています。

議員

職員の人材育成及び
職場環境の今後は

町長

世代継承を基本に職場
環境づくりを進める

議員

職員を育てる手法において、働きやすい職場環境づくりをどう考えているのか伺いたい。

町長

最も今重視しているのは世代継承の実践であり、仕事とともに進める仲間として成長させ、部下を育成させていくことだと考えています。

議員

職場の雰囲気づくりが人材育成に繋がるのではないかとと思う。管理職の姿勢が非常に重要ではないか。

町長

いろいろ苦労をしながら管理職も対応しています。

議員

町長が庁舎内を歩いているのをあまり見たことがないが、職員とのコミュニケーションをどのようにしているのか。

町長

職員交流会などの折に本音を含め、いろいろな話を聞きながら対応しています。

議員

グループ制の導入により、その弊害が生じ職員のメンタルヘルス不調が多く見受けられるが、グループ制の見直しを考えるべきではないか。

総務課長

今後の見直しの一つの考え方として、全庁のグループ内に係長を配置する方向で進めたいと考えています。

村田 政義 議員

- 花いっぱい運動について
- 上里の桜並木について



議員

今後も花のまちを推進していく上で管理の委託制を取り入れてはどうか

町長

現時点で委託は考えていない

議員

本年度の町政方針において、樹木を含めた花を活かした取り組みを進めるとあるが、自治会、老人クラブ、事務所等の花壇は何箇所あるのか伺いたい。

町長

津別町花のまち推進協議会を中心に、花壇やプランターなどを管理している団体や施設は21団体、自分たちで花の苗を育て、花壇の管理をしている団体が4団体、自治会が管理している花壇は3カ所で、老人クラブは2カ所となっています。

議員

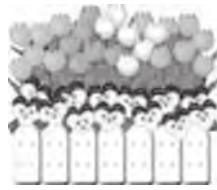
地域住民の理解と協力がなければ、厳しい取り組みかと思うが、減少の要因は、高齢化や人口減もあげられるが、大きな要因は植えた後の管理面だと思う。花のまちを今後推進していく上で、自治会

における花壇の維持・復活に對する方策、手立てはあるのか。

町長

花を植えたところが管理していくことが筋だと思いますが、管理ができないことから減少もあると考えられます。自治会連合会などを含め、これまで築いてきた住民の協力をいかした、花のあるまちをどう進めるか模索をしているところです。

議員



花の咲き誇るわが町へと美しいまちづくりを推進していくことは重要であり、今後も推進していく考えであれば、委託制は考えられないか。委託によって新たな雇用にもつながり、今後の課題として検討してはどうか。

町長

現時点では委託を進める考えはありません。

これから、まちなか再生事業も始まり町の様子も変わってきます。今後だれがどんなふうに管理するのか、美しいまちづくりに各団体の協力を得ながら進めていきたい。

議員

上里街道の桜並木の整備が必要では

町長

被害対策や周囲の整備を進めていきたい

議員

上里沿いの桜は、町民の手によって植えられ（植樹祭）、見栄えもよく、上里街道の桜並木が双子の桜と同様、津別の名所の一つになることが期待されるが、枯れた箇所も多く見受けられる。

枯れた箇所への補植も必要だと思うが、考えを伺いたい。

町長

この並木道は、昭和63年から5年間、町民植樹祭で植栽しており、鹿、ネズミの食害

や風雪害もありますが、見栄えするほどまで成長しているところですよ。

補植については、今年の秋に3メートル程の桜を50本補植することにしています。

議員

枯れた箇所は、鹿、ネズミ、風雪害があげられるが、現地を見た中では、特に被害のあった箇所は、笹地が多く大半はネズミによる被害ではないかと思う。補植後、ネズミの侵入防止対策は考えているのか。

産業振興課参事

補植した後、野ネズミ剤などで対応を考えています。

議員

枯損木の処理は冬期間の雇用対策の中で除去されているが、桜の回りに覆い被さっている雑木の整理も必要と考えられるが。

産業振興課参事

この春、人材活用センターにお願いで処分をしていますが、そのような箇所があれば対応していきたい。